

「JAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」の概要等について

1 教材のご紹介

(1) 概要

主に小学校（５年生を中心とする高学年）社会科での授業を活用いただき、食や農・環境教育などの理解を深めてもらうための補助教材です。文部科学省及び、農林水産省の確認を経て、平成20年度から全国の小学校に配布しております。

私たちの生活に欠かせない「食」と「農業」、また「環境」と「農業」の密接なかかわりや、家庭に食を届けるための流通、農畜産物の全国の産地等について、イラスト・写真・グラフを使いながら総合的に学習することで、農業に対する理解を多面的に広げていくことを狙いとしています。総合的な学習、家庭科等の内容についても取り入れております。

(2) ご活用方法

- ・ 補助教材と一緒に指導方法等を記した「教師用の指導書」も贈呈いたします。
- ・ それぞれ単元や章ごとに独立したテーマを設定しています。またSDGsの目標とも連動しています。個別に取り上げて活用ください。
- ・ 2次元コードより、単元に紐づいた動画を視聴できます。各単元にあるワークシートとともに農業現場をより深く理解するためのツールとして活用ください。
- ・ 子どもたちが関心をもって自ら考え、話し合い、まとめられるよう構成しています。授業のなかで教科書と組み合わせてご活用ください。
- ・ 日本全体の農業を扱っていますので、地域の農業を学習する教材と一緒にご活用いただくことで、農業に対する理解を深めていくことができます。



補足情報を入

「JAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」(OD版)の仕様

【児童用】

※データを毎年更新しています。児童が直接書きこめるワークシートをつけております。

【教師用】

※学習指導要領とも連動し、農業へのなじみが無い先生方でも活用できるよう関連サイトの紹介やれています。

●2025年度版の主なポイント

新学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」の趣旨を踏まえ、子どもたちが話し合いながら、自己の考えや理解を深めることができるようになっています。

2025年度版では自宅で食べている米の銘柄を調べる調査学習を新たに取り入れ、米への関心を高めてもらうとともに、日本全国でがんばっている農家やJAを紹介する

コーナーや地域社会を支えるＪＡの役割を伝えるページを新設しました。また、ＳＤＧｓとの関連性を單元ごとに分かりやすく示しました。

●教材を活用していただいた先生・児童からの声を紹介します



2 発行元：J AバンクとJ Aバンクアグリ・エコサポート基金の紹介

○J Aバンク

J Aバンクは全国に民間金融機関として、J Aバンク会員（J A・信連・農林中央金庫）で構成するグループの名称です。J Aバンクでは、農家組合員や地域の利用者、企業等の皆様に役立つ金融サービスの提供に努めています。

○J Aバンクアグリ・エコサポート基金

本教材の発行者であるJ Aバンクアグリ・エコサポート基金は、J AバンクのCSR事業である「J Aバンクアグリサポート事業」の実施主体として設立しました。補助教材の発行や各都道府県のJ A等が制作する教材本制作への助成事業を行っております。

なお、J Aバンクアグリサポート事業の取組みについては、農林中央金庫のウェブサイトの「サステナビリティ報告書」の中でも紹介しております。